

コラム：言語によって広がる世界

先週、中国新聞 SELECT で The Japan Times の記事が取り上げられていた。英語タイトルは“**Tokyo struggles to offer translated updates on virus**”、和訳では「**厚生労働省 機械翻訳に頼る**」と記されていた。（原文タイトルは“Health ministry struggles to provide COVID-19 updates in foreign languages”である。ちなみに厚生労働省は Ministry of Health, Labour and Welfare と訳される。）

厚生労働省のホームページでは、新型コロナウイルス感染症について日々新しい情報を更新している。日本語、英語、中国語、韓国語の4言語で情報を得ることができる。しかしながら、厚生労働省は翻訳作業に手間取っており、他言語による情報がタイムリーに伝わらない。ホームページで言語切替ボタンを押すと、以下の通知が表示される。

**Notification**

**The following pages are translated by a machine translation system.  
Note that the machine translation system doesn't guarantee 100% correctness.  
Some proper nouns might not be translated correctly.**

**Latest information on Coronavirus disease 2019 (COVID-19) is [HERE](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_00032.html)**

**[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage\\_00032.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_00032.html)**

**Some PDF might not be able to translate.**

[OK](#)

他社の記事によると翻訳情報の中には誤訳があるらしい（私は中国語と韓国語は読めないので「らしい」としておく）。日本を代表する機関の一つとして正しい情報を国民に提供すべきではあるが、私は誤訳についてどうこう言いたいのではない。

使う言語が変われば、世界の見え方が変わる。ワールドニュースと題された日本語の記事を読んでも、世界のすべては分からない。国外のニュースすべてが訳されるわけではないからだ。また、訳す人によってニュアンスも少しずつ変わるだろう。まして現在の機械翻訳にはまだ誤りがある。そこで「何が正しいのか」ともやもやするくらいなら、自分で原文を読んでしまえば良いのではないだろうか。舟入生にはそれだけの英語力が十分にあると思う。新聞記事の中には教科書では見かけない表現が沢山あって面白い。中学生レベルの単語にあつと言わされることもある。一つ一つの言葉の意味はもちろん言語文化を大切にしながらじっくり読み進めてみてほしい。辞書を片手に新しい世界を開こうではないか！

-----おすすめ英語サイト-----

CNN：アメリカのテレビ局。世界 150 か国以上にニュース配信。

BBC：イギリスの公共放送局。世界で初めてテレビ放送を行った。

Time For Kids：アメリカの Time 誌の子供向けバージョン。“Kids”と聞いてあなごることなかれ。平易な英語で書いてあるが、英語学習や情報収集には十分である。記事によっては音声や動画もついている。

Y.M.